

# IPS e.max® Press

## 新たな可能性を開く 高強度ガラスセラミックス

IPSe.max プレスは独自の製造工程により、異なる透明度と組成の高い均一性を有した2ケイ酸リチウムガラスセラミックスインゴットです。

IvoGlarVivadent 社製のプレスファーネスでプレスすることにより、高い適合精度と曲げ強度 (400MPa) を持った修復物の製作が可能です。また、IPS エンプレスに比べてインゴットの大きさも拡大。一度のプレス工程で製作可能な修復物の数が多くなり、経済性、効率性に優れています。さらなる審美性を求める修復物には、IPS e.max セラムを用いてレイヤリングします。



|   |           |
|---|-----------|
| 熱拡張係数 CTE(100 ~ 400°C)[10 <sup>-6</sup> /K] | 10.2      |
| 熱拡張係数 CTE(100 ~ 500°C)[10 <sup>-6</sup> /K] | 10.5      |
| 曲げ強度 (2軸) [MPa]                             | 400       |
| 破壊靱性 [MPa m <sup>0.5</sup> ]                | 2.75      |
| 弾性係数 [GPa]                                  | 95        |
| ビッカース強度 [MPa]                               | 5800      |
| 溶解性 [ $\mu$ g/cm <sup>3</sup> ]             | 40        |
| プレス温度 [°C]                                  | 915 - 920 |

### 適応例

- ベニア
- シン (薄い) ベニア
- パーシャル クラウン
- 前歯クラウン、臼歯クラウン
- 3本前歯ブリッジ
- 第2小臼歯までを支台歯とした3本ブリッジ
- 電鍍クラウンへのプレス
- インプラントの上部構造
- テレスコープ クラウン

プレスの修復物は、以下の方法を用いて完成させます。

- IPS e.max セラム シェード、エッセンスおよびグレースを用いてのキャラクタライゼーション
- カットバックを行った製作物などに対する IPS e.max セラムのレイヤリング

